

桐医会名簿に関するパブリックコメント

- * 名簿はやはりつながりですので残していただきたいと思います。
どんなに工夫しても情報は漏洩しますので、会員自身が注意していく以外はないのではないのでしょうか？
DVDでの配布はよい工夫であったと思いますのでこのまま継続でいかがでしょうか？
または、パスワードをもうけて、期間限定でダウンロードしそれに自分でパスワードを設定するのはいかがでしょうか？
いずれにしても、自己責任で利用するという前提で名簿を残していただければと思います。
よろしく願いいたします。

- * (名簿の流出) どの何の名簿でも流れ出るのは防げないでしょう。ずっと以前ですが桐医会の名簿が印刷業者(イセブ?)の店頭で印刷サンプルとして客が見られるように置かれており、店員に置くのをやめてくれと言ったことがあります。
(紙が良い) できるだけ紙が使いやすく全体として安全なので紙形態を希望。SNSは時間の効率が悪いのでそもそも殆ど使っていません。郵送だと事務局が連絡がつく状態か把握できます。
(薄くて良い) 従来の名簿は贅沢な紙面の使い方をしており、もっと簡素にするのを希望。
(記載項目) 氏名(変更と存否が分かる)、卒業年、勤務先か専門、居住市町村、電子メールアドレス、電話番号(勤務先か自宅、FAX番号でも良いか)

- * 桐医会名簿についてのパブリックコメント募集のお知らせ を拝読しました。
会長先生ほか事務局の皆さまには、名簿の編集、発行のほか、会のさまざまな活動、取材、会報の発行など活発な活動を続けてきてくださり、ありがとうございます。
筑波大を卒業してすぐに外に出てしまい、それっきり筑波の外の人になってしまいましたが、大学や学群への愛校心は秘めて持っており、会報や名簿にいつも目を通しておりました。
個人情報の流出などがなかった頃は、友達の住所をみて思いを馳せたりしていました。
今後の名簿については、できましたら昨年度までと同じような形CDで存続していただけると嬉しいです。

- * 勤務先、メールアドレスのみ記載。自宅住所 自宅電話番号は載せない。配布もしない。
桐医会のホームページから会員のみ閲覧できるようにしては。

- * 是非、桐医会名簿を存続させて下さい。
情報流出を懸念するより、卒業生が仲間を確認する名簿がある方が、大切なことだと思います。情報の中身は勤務先のみ現在の形が、いいと思っています。紙媒体の良さはあるので、6年に1回程度紙媒体での発行があるといいなと思います。ちなみに、私は、昔の紙名簿は間引いてとってあります。
ご苦労あるかと思いますが、どうぞ、よろしくお願い致します。

*名簿作成の継続を希望します。

以前の紙媒体の頃は、同門の先生方がどこでご活躍なのか、最近の学生の出身校がどこなのかなどパラパラと眺めるのを楽しみにしていました。

ところがCD-Rの配布になってからは、取り出すのがなんとなく面倒になりほとんど見るものがなくなってしまいました。

同じようにパスワードがかかっているにしてもクラウド上での閲覧であれば、もっと気軽にみることができるのではないかと思います。詳しくはありませんが、セキュリティに配慮しダウンロードできないような設定も可能ではないでしょうか。

ご検討いただけますと幸いです。

*先日頂きました会報で、名簿についての意見を募集されているとお伺い致しましたので、せっかくの機会ですので、メールさせて頂きたいと思います。

2点述べます。

1. 名簿の発行頻度を下げ（例えば、3～5年に1回）、その分会員情報の記載・更新をより徹底するようにする。

2. 旧姓（在学中の苗字）を併記する。

1.

名簿の発行頻度を下げ（例えば、3～5年に1回）、その分会員情報の記載・更新をより徹底するようにする。

名簿が定期的に発行される前提として、「会員が自身の登録情報を定期的に更新すること」が必須だと思います。

しかしながら、少なくとも私くらいの世代（第30～35回生くらい）できちんと更新している（そもそも所属先を記載している）人は、あまりに少ないように感じます。

（世代で差がある理由として、EメールやFacebookなど、コミュニケーションツールの多様化によるところもあるかも知れませんが。）

内容が更新されない以上、毎年名簿が発行される意味は少ないかと思えます。

更新されない名簿を毎年発行するよりも、3～5年に1回くらい、きちんと情報の掲載された名簿を発行する方が、良いのではないかと思う次第です。

2.

旧姓（在学中の苗字）を併記する。

現在の名簿では、旧姓（在学中の苗字）が併記されず、しかも掲載順が苗字の変更に伴い変わってしまう（学籍番号順でなくなってしまう）ため、

直感的にすぐに人物を特定できないケースが見受けられます。

2020年1月ごろ、学生時代に所属していた団体の案件で、第35回生に連絡をとろうと思ったことがあったのですが、「旧姓併記がない」ことで相手が誰だか確信を得られなかったケースがありました。

（確信が得られないまま連絡をとり、結果間違いはなかったのですが、連絡するのを少し躊躇しました。）

旧姓の併記につきまして、ご検討頂ければと存じます。

* どのような形かでは、名簿があるとよいと思いました。同級生同士もつながりをもちやすいと思うからです。

ただし、毎年電子化したとはいえ CD を送付するのは大変なので、クラウド上での共有などが、セキュリティ上可能であれば、それでもよいのかなと思いました。

* 桐医会名簿の発行は続けて欲しいです。

三年に一回くらいの発行でもいいので、よろしくお願いします。

* 桐医会名簿ですが、クラウド化してパスワード管理にするのはいかがでしょうか？

メリットとしては

- 1、郵送の手間が省ける
 - 2、年度途中でも 変更可能、誤字脱字も迅速対応可能
 - 3、流出を完全には防げないが「病院秘書が無断持出」のような事例は減らせる
 - 4、パスワード（メールで送信） の定期的変更でも流出リスクを減らせる
 - 5、名簿 CD を紛失しない
 - 6、可能ならば桐医会会報もクラウド化して、写真（海外実習の体験記など）や動画（最終講義など）もアーカイブ化して欲しい
- デメリットとしては移行初年度には手間と費用がかかる
よろしくご検討ください

* 私見を述べます。

- 名簿の存続を希望します。
- 流出対策として、以下を提案します。
 1. 会員は名簿を第3者に対して、故意または過失により流出させてはならない義務を負う
 2. 名簿の受け取りに際しては、会員は誓約書を提出する
 3. 故意または過失により名簿を流出させた場合には民事裁判を当該会員に対して提起する
 4. 故意または過失により名簿を流出させた者の氏名を桐医会会報において公表する。

以上、ペナルティを課しますという観点からの対策を提案します。

實際上、上記の3は、桐医会に法人格がなければ、難しいです。